



平成21年7月13日

各位

会社名株式会社大庄  
代表者名代表取締役社長平辰  
(コード番号9979 東証第1部)  
問合せ先 常務取締役管理本部長 水野 正嗣  
(TEL 03-5764-2229)

## 通期業績予想(連結及び個別)の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成21年8月期(平成20年9月1日～平成21年8月31日)の通期業績予想(連結及び個別)を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせします。

### 記

#### 1. 平成21年8月期(通期)の業績予想の修正

##### (1) 個別(平成20年9月1日～平成21年8月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成20年10月10日発表)	76,100	2,200	2,500	900	42円85銭
今回修正予想(B)	71,900	550	1,100	250	12円12銭
増減額(B-A)	△4,200	△1,650	△1,400	△650	—
増減率(%)	△5.5	△75.0	△56.0	△72.2	—
前期(平成20年8月期)実績	75,023	2,166	2,242	861	41円01銭

##### (2) 連結(平成20年9月1日～平成21年8月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成21年4月13日発表)	89,350	2,500	3,000	1,150	55円75銭
今回修正予想(B)	87,200	950	1,500	400	19円39銭
増減額(B-A)	△2,150	△1,550	△1,500	△750	—
増減率(%)	△2.4	△62.0	△50.0	△65.2	—
前期(平成20年8月期)実績	89,656	2,792	2,790	1,072	51円07銭

## 2. 修正の理由

### (1) 通期個別業績予想の修正理由

当期におけるわが国経済は、昨年秋以降の急激な経済情勢の悪化から、個人消費が急速に冷え込む環境下であり、外食業界も厳しい状況が続いております。

当社におきましては、特に1月以降の売上減少が目立っており、宴会売上についてはほぼ計画通りに推移しているものの、その他一般の飲食売上が大きく落ち込んでおります。その要因としては、消費者の低価格志向が急速に高まっていることに加え、業界内において低価格店舗の出店が活発化していることが大きく影響しております。特に、比較的高単価業態を多く展開する当社にとっては、影響度がより大きいと分析しております。

このため、平成21年5月期（平成20年9月1日から平成21年5月31日まで）累計の既存店売上は前年比94.2%と、当初計画（前年比99%）を大きく割り込む状況となっております。また、新規出店につきましても当初計画に比べて減少する見込みであります。

こうした現状を踏まえ、通期の売上計画の達成は厳しい状況であるため、前回予想を修正するものであります。一方、利益面におきましても、売上原価率の低下は期待できるものの、売上高減少の影響により営業利益、経常利益、当期純利益とも、前回予想を下回る見通しとなりました。

### (2) 通期連結業績予想の修正理由

連結売上高につきましては、グループ会社全体ではほぼ計画通りの水準で推移しているものの、個別売上高が減少する見通しであることが大きく影響し、前回予想を下回る見通しです。また、連結営業利益、連結経常利益、連結当期純利益につきましても、売上高減少の影響により前回予想を下回る見通しとなりました。

(注) 上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上